

## 福島第一原子力発電所の滞留水の水位・移送、処理の状況について（6月23日18時現在）

		1号機	2号機	3号機	4号機
滞留水の水位 (6月23日16時時点)	トレンチ立坑水位	水位低下に伴い、測定できず (O.P. + 850 mm未満)	O.P. + 3, 191 mm (6月23日7時から1 mm下降)	O.P. + 3, 247 mm (6月23日7時から7 mm上昇)	—
	タービン建屋水位	O.P. + 3, 199 mm (6月23日7時から9 mm上昇)	O.P. + 3, 129 mm (6月23日7時から1 mm下降)	O.P. + 3, 166 mm (6月23日7時から19 mm上昇)	O.P. + 3, 145 mm (6月23日7時から3 mm上昇)
	原子炉建屋水位	O.P. + 4, 714 mm (6月23日7時から21 mm下降)	O.P. + 3, 334 mm (6月23日7時から1 mm下降)	O.P. + 3, 275 mm (6月23日7時から13 mm上昇)	O.P. + 3, 155 mm (6月23日7時から2 mm上昇)
	集中廃棄物処理施設 における各建屋の水位	プロセス主建屋 高温焼却炉建屋 サイトバンカ建屋	O.P. + 3, 347 mm (初期値からの増加量4, 564 mm, 6月23日7時から8 mm上昇) O.P. + 3, 502 mm (初期値からの増加量4, 228 mm, 6月23日7時から81 mm下降) O.P. + 4, 465 mm (床面からの水位669 mm, 6月23日7時から4 mm上昇)		
滞留水の移送状況	1号機	—	2号機	3号機	4号機
			2号機タービン建屋地下 →集中廃棄物処理施設（高温焼却炉建屋） 移送実施中 (6月16日15時12分～)	3号機タービン建屋地下 →集中廃棄物処理施設（高温焼却炉建屋） 移送実施 (6月10日8時26分～ 6月23日9時50分)	—
	5・6号機				
		—			
水処理設備の運転状況	セシウム吸着装置 : 6月21日12時05分～ 停止中 第二セシウム吸着装置（サリー） : 6月22日12時22分～ 運転中 淡水化装置（逆浸透膜）* : 水バランスをみて断続運転 淡水化装置（蒸発濃縮） : 水バランスをみて断続運転				
その他特記事項	* 6月23日午前10時15分頃、淡水化装置（逆浸透膜式）2において、水処理するための高圧ポンプグランド水を受けるポリタンクから水が溢れていることを、当社社員が確認。溢れた水は約6.6リットルであり、同装置の堰内にとどまっており、建屋外への流出はない。同日午前10時30分、淡水化装置（逆浸透膜式）2を停止し、当該ポンプを隔離。水たまり付近の雰囲気線量率および水たまりの表面線量率はガンマ線、ベータ線ともに0.1mSv/h未満。その後、漏えいした水をサンプリングした結果、ヨウ素131が検出限界未満（検出限界値： $7.0 \times 10^{-1}$ Bq/cm <sup>3</sup> ）、セシウム134が $2.6 \times 10^0$ Bq/cm <sup>3</sup> 、セシウム137が $3.9 \times 10^0$ Bq/cm <sup>3</sup> 、全ベータが $9.0 \times 10^4$ Bq/cm <sup>3</sup> であった。				

※ 水位についてはデータとして速やかに提供させていただき観点から、参考値としてお知らせさせていただいております。